

## 性同一性障害特例法の改正巡り「新たな要件」浮上 専門家から懸念も

🔒 有料記事

国吉美香 佐藤瑞季 二階堂友紀 2024年8月8日 17時00分



コメントプラス

### 「性同一性障害特例法」改正議論のポイント

↳「性同一性障害」は国際的な疾病分類の「性別不合」を踏まえ改称？

	性別変更5要件	司法判断	与野党の議論
1	18歳以上		
2	現在結婚していない		
3	未成年の子がいない	最高裁判決で要件と矛盾も	立憲は削除案
4 手術要件	生殖腺（卵巣や精巣）がないか、その機能を永続的に欠く 生殖不能要件	最高裁 [違憲・無効]	削除へ
	変更する性別の性器に似た外観を備えている 外観要件	高裁 [手術必須なら違憲の疑い]	削除？ 見直し？

新たな要件を付加？

性同一性障害特例法 改正議論のポイント

トランスジェンダーが戸籍上の性別を変更する際の要件を定めた「性同一性障害特例法」の改正に向け、自民・公明・立憲民主の各党の方向性が出そろった。自民党内の議論では、二つの手術要件を見直す代わりに、「新たな要件」を設ける案が浮上。専門家からは改正の行方を懸念する声もあがる。

### 「違憲」判断出ず、外観要件の削除に異論も

法改正の議論は、昨年10月の司法判断を受けて始まった。最高裁が、性別変更の5要件のうち、生殖能力の喪失を求める「生殖不能要件」は違憲と判断し、この規定は効力を失ったからだ。

7月には広島高裁が、性器の見た目の変化を求める「外観要件」について、「手術が必須なら違憲の疑い」と判断。性別適合手術を原則として求めてきた二つの手術要件をめぐり、立法府は対応を迫られている。

自民党の「性的マイノリティに関する特命委員会」（委員長＝高階恵美子衆院議員）は6月、見直しの方向性について報告書をまとめ、党政調審議会に提出した。党全体での議論に向けた「たたき台」と位置づけている。

報告書によると、生殖不能要…